

### ⑤ NASTRAN 溶接部地震荷重による応力計算アプリ (ZE-PonWeDe)

NASTRAN による地震荷重と自重等の静荷重応力計算アウトプットリストより溶接部の部材力 (CELAS2, SPC1, MPC, CBAR) を荷重として、引張応力、せん断応力  $\tau$  及びせん断応力  $\tau_w$  を求めるアプリです。

#### インプット

注 1: 図 1-1 に応力計算に使用する各荷重の NASTRAN アウトプットリスト名を入力する。  
 注 2: 応力計算に使用する部材特性ファイル名を入力し荷重の組合せ方法を選択して「実行」ボタンをクリックして図 2-1 に示す Excel ファイルを出力する。

図 1-1 「入力」フォーム

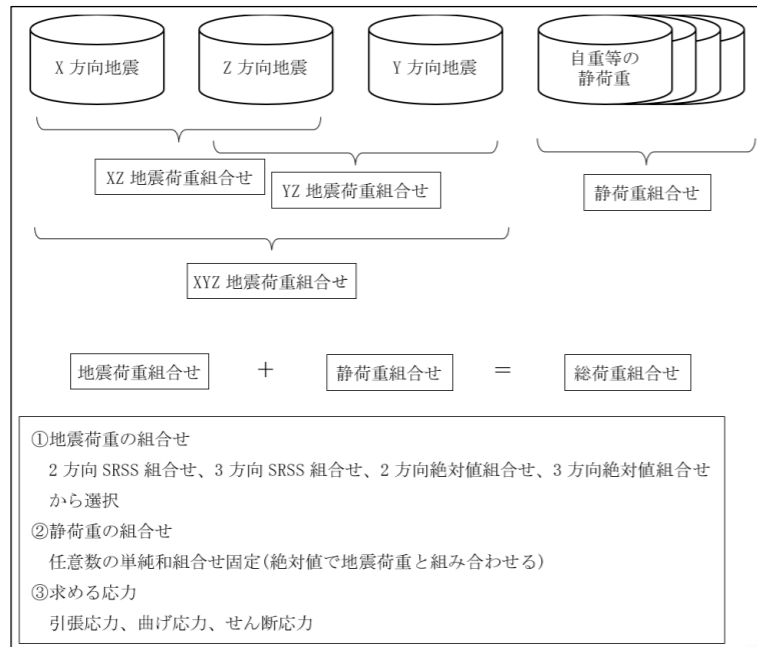


図 1-2 荷重の組合せ及び求める応力

表 1-1 ばね要素 NASTRAN アウトプットリストの抜粋

FORCES IN SCALAR SPRINGS (CELAS2)							
ELEMENT ID.	FORCE	ELEMENT ID.	FORCE	ELEMENT ID.	FORCE	ELEMENT ID.	FORCE
6111	-9.997439E+01	6112	4.233270E+00	6113	2.812336E-08	6114	-9.523239E+03
6115	-8.795521E+03	6116	1.729974E+03	6121	-1.397224E+02	6122	0.572722E+04
6123	-2.565690E+00	6124	-4.497955E+03	6125	-1.544994E+04	6126	2.997493E+02
省略							
6421	-3.865232E+01	6422	-1.997491E+00	6423	2.6340512E+00	6424	-1.173002E+03
6425	-2.599745E+04	6426	1.795552E+04	6431	-1.8071873+01	6432	-1.906395E+00
6433	4.679559E+00	6434	-3.565600E+03	6435	-1.5987873+03	6436	3.837839E+00

注 3: ばね要素以外のアウトプットリストは省略します。

#### アウトプット

図 2-1 「応力評価」シート

$$\sigma_t = \text{軸方向荷重} / \text{断面積 } A$$

注: 軸方向荷重が圧縮の場合は 0 とします。

$$\sigma_t = \text{曲げモーメント } M_y' / \text{断面係数 } Z_y + \text{曲げモーメント } M_z' / \text{断面係数 } Z_z$$

$$\tau = \frac{\sqrt{\text{せん断荷重 } F_y'^2 + \text{せん断荷重 } F_z'^2}}{\text{断面積 } A} + \frac{\text{ねじりモーメント } M_x'}{\text{断面係数 } Z_p}$$

$$\tau_w = \sqrt{(\sigma_t + \sigma_b)^2 + \tau^2}$$

注 4: 図 2-1 の「応力評価」シート以外に応力計算に使用した各荷重の部材力シートも出力される。

注 5: 応力値等のセルは全て参照形式で計算式を入力しており計算結果の数値ではない。

注 6: 表下段には全体及び Weld ID 毎の最大値が表示される。